

2023(令和5)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会  
阿山地域部会 議事概要

- 開催日時 2023(令和5)年7月27日(木)午後6時30分～7時40分
- 開催場所 阿山支所・会議室1・2
- 出席者 (敬称略)

【委員】

- 奥井 平和 (河合地域住民自治協議会会長)
- 中井 利晴 (靱田自治協議会会長)
- 高森 義信 (玉滝地域まちづくり協議会会長)
- 伊室 春利 (伊賀市阿山地区民生委員児童委員協議会会長)
- 中西 正敏 (伊賀市社会福祉協議会地域支援課長代理)
- 松山 安利 (伊賀市商工会阿山支部長)

(欠席) 藤森 宣博 (丸柱地域まちづくり協議会会長)

【事務局】

交通政策課：主幹 坂森 莊平、主査 中川 達司

- 傍聴者 0人

■会議概要

1. 開会

2. 部会長、副部会長の互選について

(互選結果・敬称略)

- 部会長 高森 義信 (玉滝地域まちづくり協議会会長)
- 副部会長 藤森 宣博 (丸柱地域まちづくり協議会会長)

3. 協議事項

・今後の地域公共交通について

事務局から資料に基づき、地域公共交通の現状について説明するとともに、島ヶ原地域へのデマンドバス導入について報告。

【質疑応答】

部委員	デマンドの経費の考え方は。
事務局	委託料として運行事業者に支払います。金額は運行実績に基づいて算出します。
部委員	実施主体は市か。車両はどうするのか。

事務局	そのとおりです。また、市が所有する車両で運行します。
部会員	島ヶ原へデマンドバスを導入するのはわかったが、阿山ではどうするのか。
事務局	説明しましたように阿山行政バスも利用状況は厳しい状況です。今後仮に見直しをしていくとなった際、必ずしもデマンドにこだわるものでもありませんし、島ヶ原で実施したことが、そのまま阿山に充てはめてうまくいくかはわかりません。島ヶ原での実証運行の利用状況等、内容を検証し、もしも改善して阿山も含めて他地区へ展開できるようであれば展開します。そのあたりは、検証しながら進めていくことになると思っています。
部会員	マックスバリュのお買い物バスは、市でやっているのか。
事務局	NPO法人が運行しています。
部会員	今回の島ヶ原での検討に、社協はかかわっていないのか。
事務局	社協に検討内容について説明させていただき意見交換を行ったり、また市が島ヶ原地内各地域で開催する説明会に、社協職員が参加いただいたりしております。
部会員	日本では公ではなく民が負担して公共交通機関を走らせてきた。そうした中、採算が悪くなると本数が削られ、やがて路線がなくなるような状況になると、地域やNPOが運行を考えていかねばならないようになっており地域にしわ寄せが来ている。他の市町では、介護保険の総合事業を活用して移送を行っている地域もある。昔は阿山も国鉄バス等が走っていたが、今はない。
部会員	玉滝線は、いつまでやっていくのか。縮小して阿山支所まで来なくなるということはないのか。
事務局	説明させていただきましたように玉滝線の利用者も減っており、特に土日の利用が少ない状況です。運行事業者である三重交通からは、運休も含めて土日の運行を見直すといった話も聞いています。大事な路線なので残してほしいということは市から訴えてきましたが、三重交通からは状況は厳しいということ伺っています。
部会員	バス路線の設定は、路線同士が重なると運輸局から路線の許可がおりないと聞いた。行政バスが佐那具駅まで走っていないのはそれが理由と思うが、地区で行政バスを利用して出かけた際、至近の停留所から駅まで歩き不便なことがあった。
事務局	おっしゃっていただきましたように、途中経路が違ったとしても目的地が同じで、路線同士による客の奪い合いになると運輸局が判断すると、路線認可がおりないことが考えられます。そのあたりは、私どもも路線を考える際には、三重運輸支局に確認しながらの作業を進めています。

部会員	市として今後、阿山にもこのデマンド運行を入れていきたいということか。
部会員	阿山は広い。地域によっては滋賀県との行き来のほうが盛んな地域もある。
事務局	<p>デマンド運行が阿山に合うのかどうかといったところもありますので、島ヶ原の実証運行について検証を進めながら、阿山以外の地区も含めて市内の交通について考えていきたいと考えています。</p> <p>今回は島ヶ原の実証運行の内容を紹介しましたが、実証運行の結果が出てきましたら、その内容を報告させていただき、地域の交通について考えていきたいと考えております。その考えていくきっかけとさせていただきたく、本日の会議を開かせていただきました。今後ともよろしく願いたします。</p>

#### 4. その他

・意見なし

(終 了)